

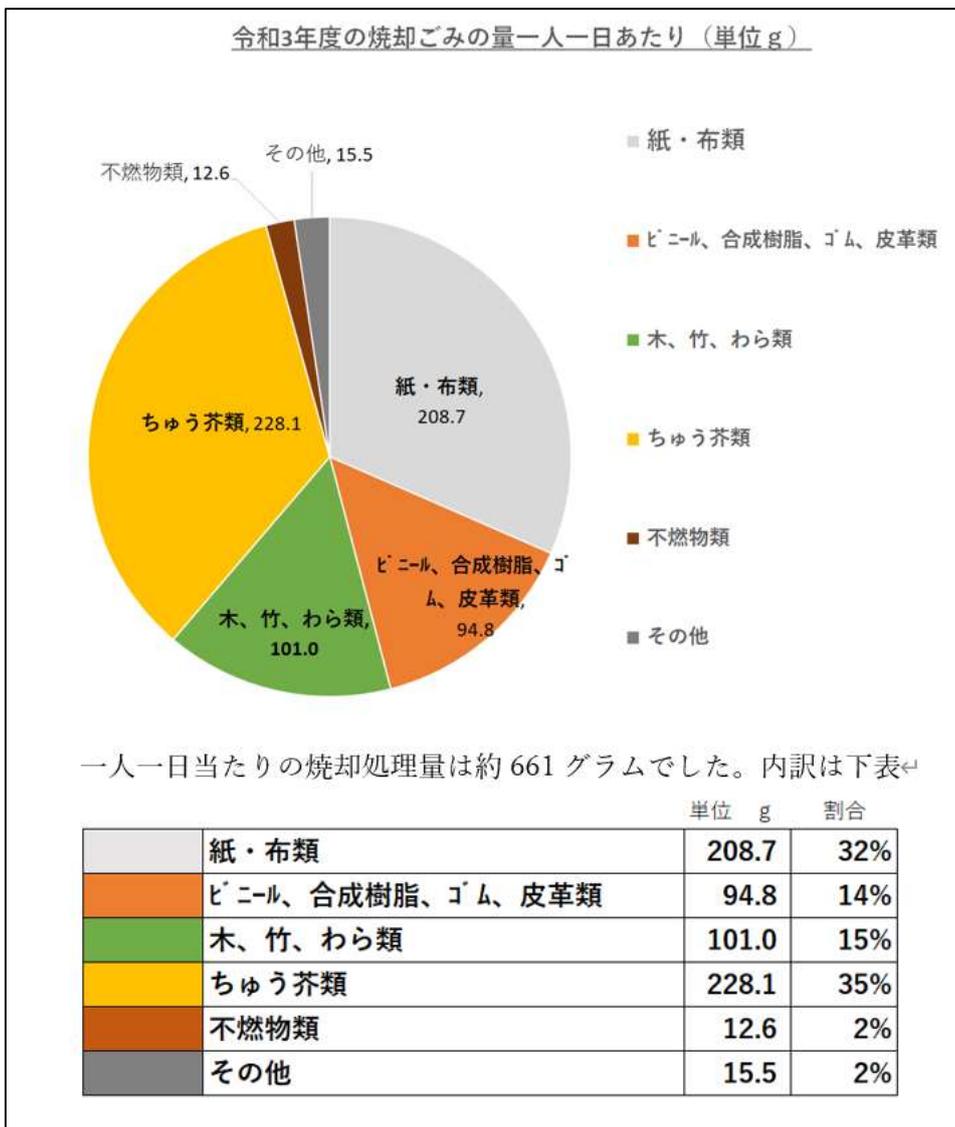
令和3年度の焼却ごみの量を計算しました

環境省“日本の廃棄物処理（令和5年4月20日現在）”データより

埼玉エコ・リサイクル連絡会
ごみを知ろう委員会 中澤啓子

ごみを知ろう委員会では、市民の皆様の焼却ゴミに対する認識を高めていただきたいと考え、環境省のデータを解析し、毎年皆様にお知らせしています。

環境省で集計しているデータは各自治体の管理している焼却場のデータで、全国の焼却場から集められています。その中から埼玉の焼却ごみデータを抜粋し解析しました。



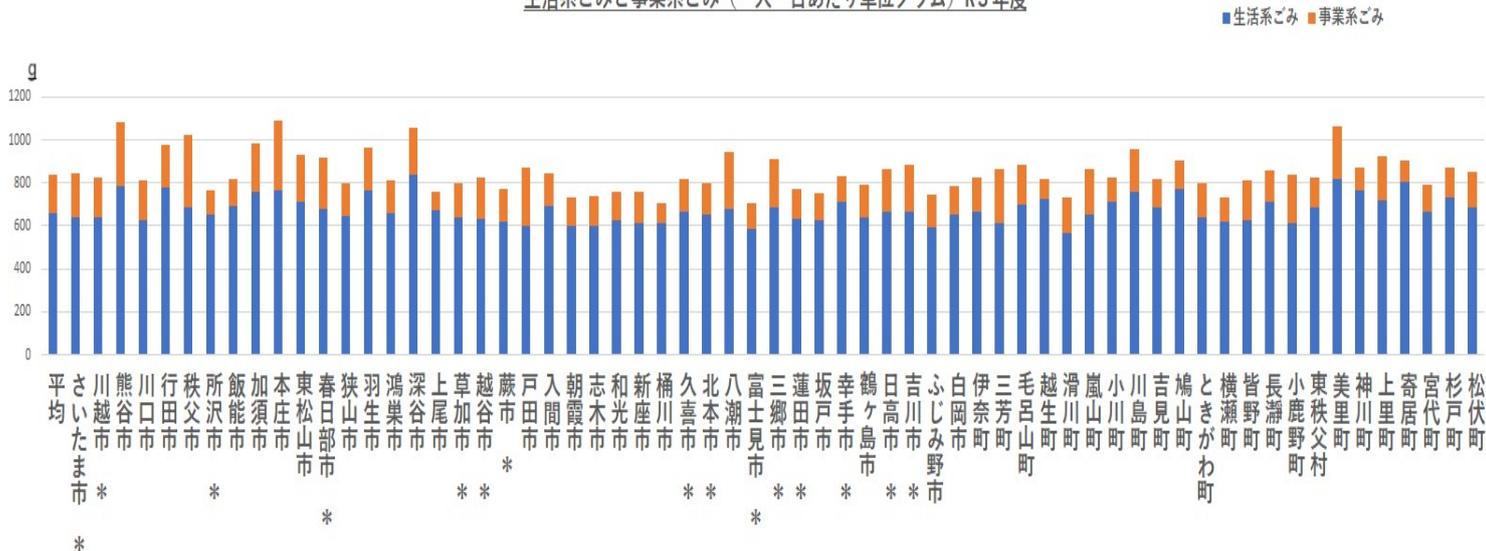
① 焼却ごみのデータは乾燥重量で提出されていますので、解りやすくするためにより、実態に近い形に水分を含ませ、解析しました。

その結果一人一日当たりの焼却処理量は約 661 グラムで、内容は左表です。因みに令和2年度は 665 グラムでした。

埼玉県全体では毎年の変化は微々たるものですが、それぞれの自治体では取り組みや地域性によりそのごみの内容には大きな違いがあります。

② 毎日の生活の中から出されるごみのうち生活系のゴミと事業系のゴミは？

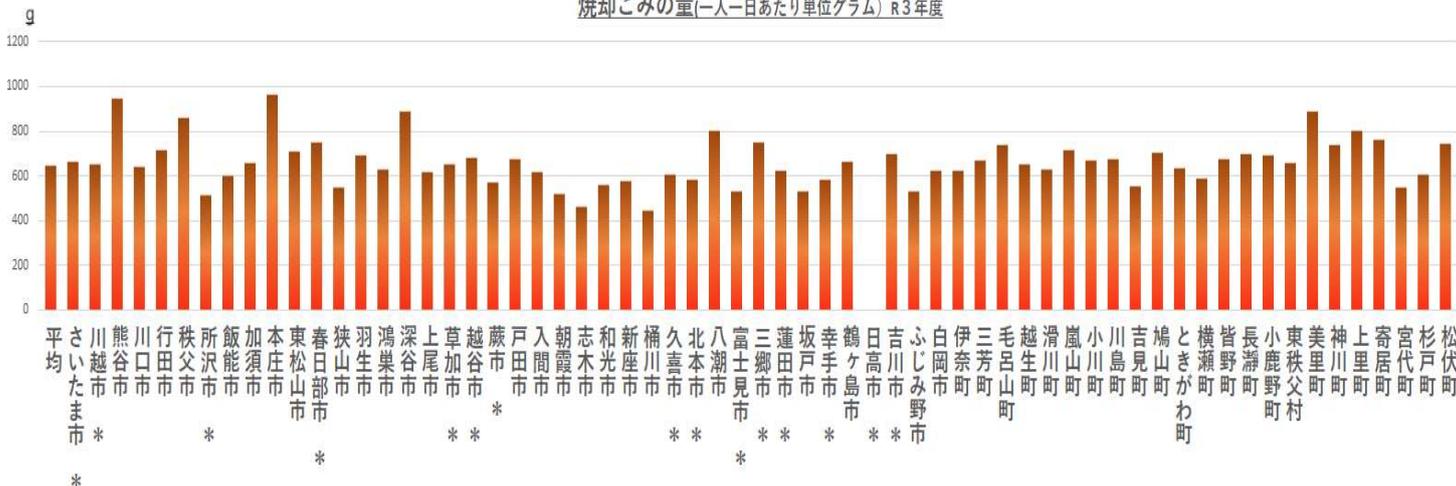
生活系ごみと事業系ごみ（一人一日あたり単位グラム）R3年度



ごみの収集方法により多少の誤差があるとは思いますが、埼玉県の各自治体のごみの量は上の図のようになりました。ご自分の自治体をさがしてみてください。

③ 収集されたごみのうち焼却されたごみの量は下図のようになりました。

焼却ごみの量（一人一日あたり単位グラム）R3年度



回収されたごみもリサイクルされる量が多いと燃やされる量は少なくなります。よって焼却ごみの量はかなりの地域差があります。上記のグラフで分かるように日高市の可燃ごみはセメントの材料にすると言う事で、燃していません。ですから焼却量はゼロ。最近はそのような自治体も他所では始まっているということですが、（エコセメントという名前になっているらしいです。）面倒が省けるからと、安易に回収しセメントにして良いのかどうか？処理費も特別にお安くはないように見えますが…。

④ ごみを減らすには

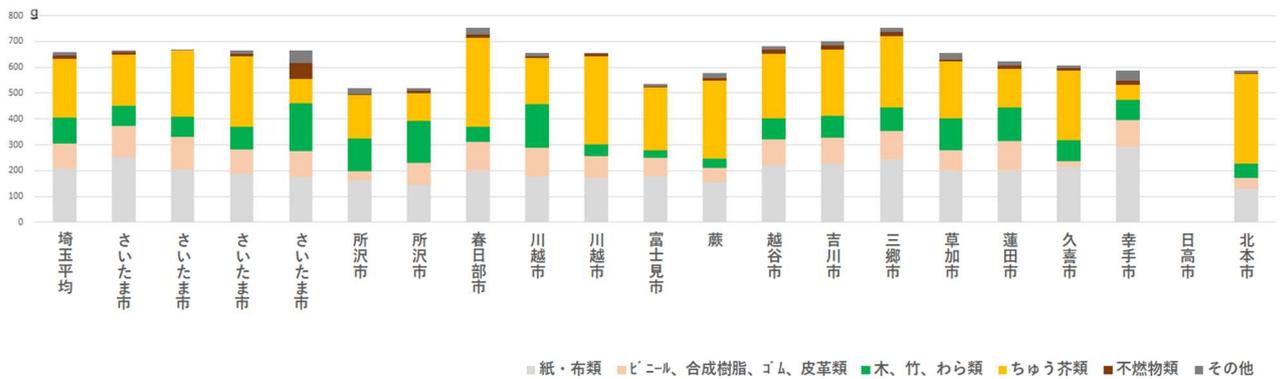
ごみの内容がどのようなものであるか知らなければ減らす手立てが見つかりませんので、いくつかの自治体の内容を①と同じように計算してみました。(下の表) 気になるところに色が付いていますのでご覧になってください。処理費は持ち込み重量の割合で各自治体に請求されていますので、気になる所の処理量を減らすことは処理費の節約にもなりません。検討してみましょう。いかがでしょうか？

令和3年度の焼却ごみの内容 (一人一日あたり)

見学会参加者所在地 (R3)	埼玉平均	さいたま市	さいたま市	さいたま市	さいたま市	所沢市	所沢市	春日部市	川越市	川越市	富士見市	蕨	越谷市	吉川市	三郷市	草加市	蓮田市	久喜市	幸手市	日高市	北本市
焼却場名		さいたま市 クリーンセ ンター大崎 第二工場	さいたま市 東部環境セ ンター	さいたま市 西部環境セ ンター	さいたま市 桜環境セン ター	所沢市西部ク リーンセン ターごみ焼却 施設	所沢市東部 クリーンセ ンターごみ 焼却施設	豊野環境衛 生センター	川越市東清 掃センター 焼却施設	川越市資源 化センター 熱回収施設	富士見環境 センターご み焼却施設	蕨市衛生 センターご み処理施設	東埼玉第一 工場ごみ処 理施設	東埼玉第一 工場ごみ処 理施設	東埼玉第一 工場ごみ処 理施設	第二工場ごみ 処理施設	蓮田白岡衛 生組合ごみ 焼却施設	久喜市清掃 センター75g /24hごみ処 理施設(1号F)	杉戸町環境 センター	むつ工場運 転	埼玉中部 環境セン ター
一人当たりの焼却処理量(g)	661	667	667	667	667	518	518	754	655	655	536	577	682	701	753	656	624	607	588	0	587
紙・布類	209	252	203	189	175	161	145	202	179	173	177	154	219	226	242	201	201	213	293	0	131
ビニル、合成樹脂、ゴム、皮革類	95	122	127	93	100	37	84	108	109	83	71	58	100	103	111	77	112	23	104	0	40
木、竹、わら類	101	78	77	87	185	125	163	60	171	45	31	35	83	85	91	125	131	81	78	0	55
ちゅう芥類	228	199	258	275	96	171	109	344	178	343	244	302	249	256	275	219	149	270	57	0	349
不燃物類	13	8	0	10	61	4	9	11	6	8	3	8	16	16	18	7	12	11	18	0	3
その他	16	8	1	13	50	20	8	28	13	3	9	19	14	15	16	27	19	9	39	0	10
焼却処理量合計	661	667	667	667	667	518	518	754	655	655	536	577	682	701	753	656	624	607	588	0	587

グラフで色分けにすると下図のようになります。

参加者各自治体の焼却ごみの内容 (R3) 1人一日あたり単位グラム



紙のリサイクルはすすんできましたのでそれほど地域差は無いようですが、緑色の草や剪定枝の部分や、黄色の厨芥ごみの量に気になる地区があります。また、残念ながら、ごみを知らず委員会では容量の大きさは測れませんのでビニールや合成樹脂の量の多さについては数字として出せません。けれど、この肌色の部分は軽いにもかかわらずこれだけの地域差があることに注目していただけると嬉しいです。

このグラフの中にはご自分の自治体のグラフはなかったかもしれませんが、多くの自治体がこれを参考にしてごみの減量に動んでいただけることを願います。